

令和6年度第2回一関市総合計画審査議会

日 時：令和6年5月23日（木）
14時00分～16時00分

場 所：一関市役所2階 大会議室A

次 第

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議 題
 - (1) 市民ワークショップについて
 - (2) アンケート調査項目について
- 4 情報提供
 - (1) 自立持続可能性自治体等について
- 5 その他
- 6 閉 会

一関市総合計画審議会委員(令和5年7月24日～令和7年7月23日) ※敬称略、50音順

	ふりがな 氏名	地区	職業・所属団体等(委嘱時点)
1	あべ としひこ 阿部 利彦		
2	いずみ けんじ 泉 賢司		
3	いとう たくや 伊藤 拓也		
4	うつ の いずみ 宇津野 泉		
5	おいかわ えりこ 及川 恵理子		
6	おおうち まちこ 大内 早智子		
7	おの であら しのぶ 小野寺 忍		
8	おやま あまきこ 小山 亜希子		
9	かとう さおり 加藤 沙央里		
10	こいわ くにひろ 小岩 邦弘		
11	さいじょう えみこ 西條 恵美子		
12	さいとう ひろみ 齊藤 裕美		
13	ささき しょうこ 佐々木 承子		
14	さとう ひろこ 佐藤 弘子		
15	しょうじ きたし 東海林 訓		
16	すがわら みつよ 菅原 美津代		
17	すがわら ひでふみ 菅原 秀文		
18	ちだ くみこ 千田 久美子		
19	ちだ よしき 千田 好記		
20	ちば まみこ 千葉 真美子		
21	とくだに きくこ 徳谷 喜久子		
22	ふじもと せんに 藤本 千二		
23	ふなやま けんじ 船山 賢治		
24	ほし よしひろ 星 義弘		
25	よしだ なつ 吉田 捺		
26	よしだ まさひろ 吉田 正弘		

令和6年度第2回一関市総合計画審議会

令和6年5月23日開催

市出席者

No.	役 職	氏 名	備 考
1	市長公室長	今野 薫	
2	市長公室次長 兼 政策企画課長	飯村 昌弘	
3	市長公室 政策企画課長補佐 兼 政策推進係長	小山 隆之	
4	市長公室 政策企画課 主任主査	佐々木 さやか	
5	市長公室 政策企画課 主任主事	渡辺 苑子	
6	市長公室 政策企画課 主任主事	谷藤 義拓	

株式会社 邑計画事務所

No.	役 職	氏 名	備 考
1	取締役 技術士	及川 一輝	

【資料No.1】

令和6年度第2回総合計画審議会
令和6年5月23日(木)

市民ワークショップについて

【本日の審議会で意見をいただきたいこと】

- ・ ワークショップの開催内容について
- ・ ワークショップ当日にオブザーバーとして参加する審議会委員（6人）をワークショップのプロジェクトメンバーとし、打合せ（1～2回程度）にも参加いただくことについて

1 趣旨・目的

一 関市総合計画基本構想の策定にあたり、幅広く市民の意見を求め、構想に反映させるために開催する。

2 日程

- (1) 日時 令和6年6月下旬から7月中旬 土曜日 14:00～17:00
(2) 場所 一関会場（場所未定）
千厩会場（場所未定）

3 参加者と募集方法

1 会場あたり 40人程度（5～7人×6グループ）

各グループの構成	人数	募集方法
ファシリテーター	1人	株式会社邑計画事務所（策定支援業務受託業者）
オブザーバー	1人	総合計画審議会プロジェクトメンバー
高校生参加者	2人程度	学校に推薦依頼
高専生参加者	1人程度	学校に推薦依頼
一般参加者	3～4人程度	公募、関係機関に推薦依頼

4 内容

テーマ 10年後の一関市を考える		
時間	内容	詳細
14：00～14：25	導入	趣旨説明、総合計画の説明、人口推計などの現状について説明
14：25～14：55	ワークショップ①	今の一関市に思うこと（課題）
14：55～15：20	ワークショップ②	10年後の一関市の目指す姿（高校生・高専生と一般参加者に分かれる）
15：20～15：30	休憩	
15：30～16：10	ワークショップ③	10年後の一関市の目指す姿（①のグループに戻る）
16：10～16：40	ワークショップ④	10年後の一関市の目指す姿の中から基本構想の将来像に繋がるキーワードを抽出する
16：40～16：55	共有	ワークショップ①～④の内容を全体共有
17：00	終了	

アンケート調査項目について

【資料No.2】
令和6年度第2回総合計画審議会
令和6年5月23日(木)

【本日の審議会で見聞をいただきたいこと】

- ・ アンケート構成などの全体的な視点で確認いただく
- ・ アンケート調査結果を基本構想へ反映させるに当たり、審議会委員（6人）をプロジェクトメンバーとし、打合せ（1～2回程度）に参加いただくことについて

1 今後のスケジュール

- R6.5.23(木) 第2回総合計画審議会において修正した内容を報告、意見聴取
- R6.5.27(月) 庁内組織（一関市総合計画推進委員会、まち・ひと・しごと創生本部総合戦略策定部会）において最終確認 → 修正作業
- R6.6月上旬 発送（回答は①Web ②アンケート用紙へ記入し返信）
- R6.8月上旬 結果集計完了
- R6.8月上旬 プロジェクトメンバー打合せ

2 修正の概要

(1) 市民アンケート（資料No.5）

全体項目数(第1回審議会時)	全体項目数(第2回審議会時)	【参考】「その他」の記載を除いた数
47	45	30

- ・ 「基礎情報」「生活や地域」「情報環境」などに区分し、順番を整理した。
- ・ 「問8 あなたは働いている環境に不満や悩みがありますか。」の回答選択肢を企業アンケート「問11 働きやすい職場環境の実現のため、以下の項目について貴社が実施している取組をお選びください。」と合わせ、結果を比較できるようにした。
- ・ 「問26 あなたは、一関市の住みやすさについて、どのように感じていますか。」に付随し、理由の自由記載を追加した。
- ・ 中心市街地の商店街に関する項目を整理した。

(2) 中高生アンケート（資料No.6）

全体項目数(第1回審議会時)	全体項目数(第2回審議会時)	【参考】「その他」の記載を除いた数
26	28	22

- ・ 「基礎情報」「将来の生活」「将来の仕事」などに区分し、順番を整理した。
- ・ 中心市街地の商店街に関する設問（市民アンケートと同様）を追加した。

(3) 企業アンケート (資料No.7)

全体項目数(第1回審議会時)	全体項目数(第2回審議会時)	【参考】「その他」の記載を除いた数
34	35	25

- ・ 「基礎情報」「現在の取組」「経営」などに区分し、順番を整理した。
- ・ 「問20 事業の後継者の状況についてお選びください。」に付随し、廃業理由の自由記載を追加した。

(4) 結婚・出産・就労に関するアンケート (資料No.8)

全体項目数(第1回審議会時)	全体項目数(第2回審議会時)	【参考】「その他」の記載を除いた数
50	33	24

- ・ 「基礎情報」「就労状況」などに区分し、順番を整理した。
- ・ 一関市子ども計画策定にあたり実施する子育てに関するアンケート(参考資料No.1)において、子育てに関して詳細な調査を行うことから、総合計画におけるアンケートでは、人口の将来展望のために必要な項目に絞って設問を設定した。
- ・ 上記の理由から、アンケートの名称を「結婚・出産・就労に関するアンケート」に変更した。

(5) 転入者アンケート (資料No.9)

全体項目数(第1回審議会時)	全体項目数(第2回審議会時)	【参考】「その他」の記載を除いた数
27	25	18

- ・ 「基礎情報」「転入の経緯」「まちづくり」に区分し、順番を整理した。
- ・ 住まいを決める際に重視した居住環境に関する設問を削除した。(把握したいのは転入の経緯であり、住まい選びのポイントではないため)

(6) 転出者アンケート (資料No.10)

全体項目数(第1回審議会時)	全体項目数(第2回審議会時)	【参考】「その他」の記載を除いた数
23	21	16

- ・ 「基礎情報」「転出の経緯」「まちづくり」に区分し、順番を整理した。
- ・ 住まいを決める際に重視した居住環境に関する設問を削除した。(把握したいのは転出の経緯であり、住まい選びのポイントではないため)

一関市総合計画アンケート 市民アンケート

※【検討中】 記載概要は以下のとおり

- ・ 18歳以上の市民の中から無作為に選んだ4,500人の方をお願いする
- ・ 市では、令和8年度(2026年度)を初年度とし令和17年度(2034年度)を目標年次とする次期総合計画の策定を進めており、今後の市政運営に反映させることを目的にアンケートを実施することとした
- ・ 回答いただいた内容は、「こう思う方は全体の〇%」といった統計的な数値に取りまとめ、個人情報と回答内容を結び付けた情報の活用はしない

ご記入に当たってのお願い

- 質問には、封筒のあて名のご本人様がお答えください。
- 最初の質問から1問ずつ、全ての質問にお答えください。
- 回答は、オンラインフォームに入力し、送信する形で提出してください。
また、このアンケート用紙に記入し、同封の返信用封筒で郵送する形での提出も可能です。
- アンケート用紙に記入するときは、黒のボールペンまたは濃い鉛筆で、各設問の選択肢の中から該当するものの○を塗りつぶしてください。内容を記述する設問については、回答を指定の枠の中に具体的に記載してください。

回答期限 月 日 ()

※ 郵便の場合は、この日までにポストに投函してください。

問い合わせ先
一関市 市長公室 政策企画課 政策推進係
TEL 0191-21-8641(直通)

■基礎情報についてうかがいます。

問1 あなたの性別を教えてください。(1つ選択)

1. 男性
2. 女性
3. その他
4. 回答しない

問2 あなたの年代を教えてください。(令和6年4月1日時点)。

- | | |
|--------|--------|
| 1. 10代 | 5. 50代 |
| 2. 20代 | 6. 60代 |
| 3. 30代 | 7. 70代 |
| 4. 40代 | 8. 80代 |

問3 あなたの就労状況を教えてください。(1つ選択)

1. 正社員・正職員
2. 派遣・嘱託・契約社員
3. パート・アルバイト
4. 自営業主、家族従事者
5. 専業主婦・専業主夫
6. 学生
7. 無職
8. その他

問4 問3で「8. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

問5 現在お住まいになられている地域を教えてください。(1つ選択)

1. 一関地域
2. 花泉地域
3. 大東地域
4. 千厩地域
5. 東山地域
6. 室根地域
7. 川崎地域
8. 藤沢地域

■ 生活や地域についてうかがいます。

問6 高齢化社会が進行する中であなたが不安に思っていること、困っていることは何ですか。（あてはまるものすべて選択）

1. 後継者がいない（家、家業）
2. 自分が亡くなった後、家やお墓を管理する人がいない
3. 入院や施設入所時に身元引受人がいるか不安である
4. 介護してくれる人がいない
5. 運転ができなくなると交通手段がない
6. 働ける職種が限定される
7. 買い物やゴミ出しを自分だけでできるか不安である
8. 各種書類の記入や手続きを自分だけでできるか不安である
9. 草刈り、雪かき等、自宅周りの環境整備
10. 一人暮らしや孤独になることが不安である
11. いきがいつくり
12. 老後の生活資金が不安である
13. 健康の維持管理が不安である
14. 地域の医療体制が不安である
15. 災害時の対応が不安である
16. 地域全体が高齢化し、地域コミュニティが維持できるか不安である
17. 介護が必要になった時、入所できる施設があるか不安である
18. その他

問7 問6で「18. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

問8 あなたは働いている環境に不満や悩みがありますか。（あてはまるものすべて選択）

1. 有給休暇が取得しにくい
2. 残業時間が多い
3. フレックス勤務などの多様な勤務時間に対応していない
4. 在宅勤務・時短勤務など多様な働き方に対応していない
5. 業務プロセスの見直しによる業務削減が必要
6. RPAの導入など自動化による業務削減が必要
7. アウトソーシングによる業務削減が必要
8. 女性管理職の登用など女性活躍の推進がされていない
9. 社員のスキルアップの場が不足している
10. 障がいがある方の雇用が進んでいない
11. 定年引上げなど高齢者の雇用が進んでいない
12. 外国籍や留学生の雇用が進んでいない
13. 非正規・正規職員の待遇に格差がある
14. 給料が安い
15. ハラスメント（セクハラ・パワハラなど）対策が不十分
16. その他

問9 問8で「16. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

問10 次にあげる各場面において、あなたの身の回りでは男女平等になっていると思いますか。（1つ選択）

	思う		どちらともいえない		思わない
	1	2	3	4	5
1. 家庭生活	1	2	3	4	5
2. 職場	1	2	3	4	5
3. 学校教育の場	1	2	3	4	5
4. 政治の場	1	2	3	4	5
5. 法律や制度上	1	2	3	4	5
6. 社会通念、習慣、しきたり	1	2	3	4	5
7. 就職	1	2	3	4	5
8. 地域活動	1	2	3	4	5

問11 あなたが行っているその地域での活動やボランティア活動はどのような活動ですか。(あてはまるものすべて選択)

1. 地域の草刈やごみ清掃、除雪など、自分でできる活動
2. 自治会などの活動
3. 地域の子ども会などの行事
4. 青年会、老人会、女性団体などの活動
5. 地域で行うスポーツやけいこ事、趣味のサークル活動
6. 食生活改善・健康運動などの健康づくりの活動
7. 環境美化の活動
8. 育児サークルなどのボランティア
9. 障がい者補助や高齢者介護などのボランティア
10. 環境保護などのボランティア
11. 観光ガイド、通訳などのボランティア
12. まちづくりやまちおこしなどへの提言および市民活動
13. 人権問題などに関する市民活動
14. 地域の祭り・伝統芸能などを保全・継承する活動
15. NPO団体やボランティアグループを自ら立ち上げる活動
16. 都市と農村の交流・国際交流活動
17. 行っていない
18. その他

問12 問11で「18. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

--

問13 問11で「17. 行っていない」を選んだ方にうかがいます。

何も活動をしていないのは、どのような理由からですか。(あてはまるもの3つまで選択)

1. どういう活動が行われているか分からない
2. 参加方法が分からない
3. 身近に一緒に活動する仲間がない
4. 自由になる時間がない
5. きっかけがなかった
6. 体力に自信がない
7. 活動に対する責任が重荷になりそう
8. 人間関係がわずらわしそう
9. 行政がすべきことだ
10. 興味がない
11. 特に理由はない
12. その他

問 14 問 13 で「12. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

--

■情報環境についてうかがいます。

問 15 市からの情報は主に何で入手していますか。（あてはまるもの3つまで選択）

1. 広報いちのせき
2. 市ホームページ
3. いちのせきメール
4. 屋外広報マスト
5. 新聞記事
6. テレビ番組
7. ラジオ番組（FMあすも）
8. 家族・友人・知人との会話
9. 市公式フェイスブック
10. 市公式X（旧ツイッター）
11. Youtube
12. LINE
13. ニュースアプリ
14. インターネット検索
15. 市への問い合わせ
16. 入手していない
17. その他

問 16 問 15 で「17. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

--

問 17 市からの情報は主にどのようなものを必要としていますか。（あてはまるもの3つまで選択）

1. 健康・福祉・医療・介護
2. 防犯・防災
3. 災害発生情報
4. 環境・ごみ・リサイクル
5. 観光(名所・イベント)
6. 税・戸籍など
7. 教育(学校)
8. 子育て支援
9. 市の取組
10. 生涯学習(講座・サークル活動)
11. 住まい・上下水道
12. 都市計画・道路
13. 農業・産業・雇用
14. 消費生活
15. 入札情報

16. スポーツ
17. 文化財・芸術
18. 市民活動(ボランティア・社会貢献)
19. その他

問 18 問 17 で「19. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

問 19 インターネットに接続できる機器を持っていますか(あてはまるものすべて選択)

1. スマートフォン
2. スマートフォン以外の携帯電話
3. タブレット
4. パソコン
5. ゲーム機器
6. テレビ
7. その他
8. 持っていない

問 20 問 19 で「7. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

問 21 問 20 で「8. 持っていない」と回答した方に伺います。

インターネットを使わない理由を教えてください。(最もあてはまるものを1つ選択)

1. 知識がなく不安だから
2. 金銭的負担があるから
3. 家族からの制約があるから
4. インターネットを使う必要がないと考えているから
5. その他

問 22 問 21 で「5. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

問23 問22で「8.持っていない」以外を回答した方に伺います。

あなたはインターネットを用いてどのようなサービスを利用することができますか。（あてはまるものすべて選択）

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. Wi-Fi に接続することができる2. 知りたい情報を調べることができる3. インターネット上で買い物ができる |
|--|

問24 問23で「1.スマートフォン」を回答した方に伺います。

スマートフォンでキャッシュレス決済を利用していますか。（1つ選択）

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 利用している2. 利用していない |
|--|

■ まちづくりについてうかがいます。

問 25 現在の一関市総合計画（計画期間：2016年～2025年）では5つのまちづくりの目標を掲げ、各施策に取り組んできました。

（1）目標ごとの市の取組への評価点数を選んでください。

（2）目標ごとに最も評価が高い項目と最も評価が低い項目を教えてください。

■地域資源をみがき生かせる魅力あるまち	最も評価が高い項目 (1つ選択)	最も評価が低い項目 (1つ選択)
1. 農林水産業 2. 工業 3. 商業、サービス業 4. 雇用 5. 観光		
評価点数	低い 1 2 3	高い 4 5

■みんなが交流して地域が賑わう活力あるまち	最も評価が高い項目 (1つ選択)	最も評価が低い項目 (1つ選択)
1. 都市間交流、国際交流 2. 道路 3. 公共交通 4. 地域情報化 5. 地域づくり活動 6. 移住定住、関係人口、結婚支援		
評価点数	低い 1 2 3	高い 4 5

■自ら輝きながら次代の担い手を応援するまち	最も評価が高い項目 (1つ選択)	最も評価が低い項目 (1つ選択)
1. 子育て 2. 義務教育、高等教育等 3. 青少年の健全育成 4. 生涯学習 5. 文化芸術、スポーツ・レクリエーション 6. 人権、男女共同参画 7. 文化財の保護、地域文化の伝承 8. 骨寺村荘園遺跡の保護		
評価点数	低い 1 2 3	高い 4 5

■郷土の恵みを未来へ引き継ぐ自然豊かなまち	最も評価が高い項目 (1つ選択)	最も評価が低い項目 (1つ選択)
1. 自然環境、環境保全 2. 公園 3. 資源・エネルギー循環型社会 4. 住環境、景観 5. 上水道 6. 下水道		
評価点数	低い 1 2 3	高い 4 5

■みんなが安心して暮らせる笑顔あふれるまち	最も評価が高い項目 (1つ選択)	最も評価が低い項目 (1つ選択)
1. 医療 2. 地域福祉 3. 高齢者福祉 4. 障がい者福祉 5. 健康づくり 6. 防災 7. 消防、救急、救助 8. 防犯、交通安全、市民相談体制		
評価点数	低い 1 2 3	高い 4 5

問 26 地球温暖化が深刻な環境問題となっています。

温暖化を防止するために行政や市民、事業所ではどのような取り組みを進めることが必要だと考えますか。特に重要だと思うものをお選びください。(あてはまるもの3つまで選択)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 太陽光や風力、水力、地熱、バイオマスなどの再生可能エネルギーの活用を増やす 2. 住宅や施設などへの太陽光発電の設置を推進する 3. 市内産木材の利用促進や間伐材・未利用材の活用を推進する 4. 断熱効果の高い住宅など環境に配慮した住宅・施設などの導入を増やす 5. 冷暖房の設定温度を抑えたり、省エネの電化製品に替えるなどエネルギー使用量を減らす 6. 森林の適切な管理を行い二酸化炭素の吸収源の確保・維持を行う 7. 電気自動車など環境に配慮した自動車の導入を増やす 8. プラスチック製品や空缶、小型家電など資源ごみのリサイクルを推進する 9. 資源回収など環境保全活動を行う自治会などへの報奨金などを推進する 10. 環境に対する意識を高めるよう広報活動や環境学習を推進する 11. その他 |
|--|

問 27 問 26 で「11. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

--

問 28 災害に強いまちづくりに向け、どのような取り組みを進めることが必要だと考えますか。特に重要だと思うものをお選びください。（あてはまるもの3つまで選択）

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 市民への防災意識の啓発2. 自主防災組織の育成・活性化3. 住宅耐震化の補助4. 避難所の充実5. ライフライン（電気・水・道路など）の強じん化6. 乳幼児、高齢者などの要配慮者に応じた避難体制の充実7. 防災無線等の情報網の整備8. 水・食料等の物資の備蓄9. 消防や救急体制の充実10. 災害発生時における行政の初動体制・危機管理体制の強化11. 地域コミュニティの強化12. その他 |
|--|

問 29 問 28 で「12. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

--

- 郊外型店舗の進出に伴う、中心市街地の活性化の取組のためにかがいます。
なお、ここでは、中心市街地の商店街は、一ノ関駅西側商店街のことをいいます。

問30 中心市街地の商店街または各地域の商店街にどれくらいの頻度で出かけますか。
(1つ選択)

1. ほぼ毎日
2. 週に2～3回
3. 週に1回程度
4. 月に数回
5. 月に1～2回程度
5. 年に数回程度
6. ほとんど行かない

問31 中心市街地の商店街または各地域の商店街に出かける目的は何ですか。(あてはまるもの3つまで選択)

1. 買い物
2. 飲食
3. 通勤・通学
4. 通院
5. イベント、娯楽
6. 習い事、サークル活動、学習
7. サービス(理美容など)
8. 文化施設利用(図書館など)
9. 公共サービス(官公庁、金融機関など)
10. 散歩、くつろぎ、なんとなく
11. ほとんど行かない
12. その他

問32 問31で「12. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

問 33 中心市街地の商店街または各地域の商店街がどのような空間になるとよいと思いますか。(あてはまるもの3つまで選択)

1. 歩いて楽しい
2. 交通が便利
3. 居住もできる空間
4. 何でも用事を足せる
5. ショッピングが楽しめる
6. 観光客がたくさん訪れる
7. バリアフリー化が進んでいる
8. イベントや伝統行事がたくさんある
9. 歴史的街並みや伝統産業が活かされている
10. 働く場所が多く、ビジネスが活発である
11. 治安がいい
12. 特になし
13. 分からない
14. その他

問 34 問 33 で「14. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

問 35 あなたは、一関市の住みやすさについて、どのように感じていますか。(1つ選択)

1. 住みやすい
2. どちらかといえば住みやすい
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば住みにくい
5. 住みにくい
6. わからない

問 36 問 35 の選択の理由をお書きください。(自由記載)

問 37 あなたは市民の考えや意見が市政全般にどの程度反映されていると思いますか。
(1つ選択)

1. かなり反映されている
2. ある程度反映されている
3. どちらともいえない
4. あまり反映されていない
5. 全く反映されていない
6. わからない

問 38 まちづくりに関する次の意見のうち、あなたの考えに近いのはどれですか。(1つ選択)

1. まちづくりは、市民と行政が協働でつくるもの
2. まちづくりは、市民が主体的に進めるべきもの
3. まちづくりは、行政が主体的に進めるべきもの
4. どちらともいえない
5. わからない

問 39 市政への市民参加をより活発にするために、あなたは市が特にどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(1つ選択)

1. アンケートなどによりできるだけ数多くの市民の意見を聞く
2. 各種の委員会や審議会の公募委員の数を増やす
3. 意見、要望を話し合う市政懇談会などの回数を増やす
4. 市民参加の意識啓発を図る
5. 各種計画など行政情報の公開を充実させる
6. 地域協働体などに対する支援や協力を行う
7. その他

問 40 問 39 で「7. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

--

問 41 SDGsという言葉を知っていますか。(1つ選択)

1. SDGsという言葉を知っており、内容も知っている
2. SDGsという言葉を知っているが、内容は知らない
3. SDGsという言葉は聞いたことがない

問 42 問 41 で「1. SDGs という言葉を聞いたことがあり、内容も知っている」「2. SDGs という言葉を聞いたことがあるが、内容は知らない」と回答した方に伺います。

SDGs に関心はありますか。(1 つ選択)

1. 非常に関心がある
2. やや関心がある
3. あまり関心がない
4. 全く関心がない

問 43 一関市を含む北上高地が ILC (国際リニアコライダー) 計画の国内候補地となっています。一関市では ILC の実現を目指し、市民への普及啓発、国内外への情報発信などに取り組んでいます。

あなたは ILC の実現に伴って地域にどのようなことを期待しますか。(あてはまるもの 3 つまで選択)

1. 地域の国際化
2. 地元産業の発展
3. 地域ブランドの向上
4. 新しいビジネスの創出
5. 人材の育成・確保
6. 教育環境の充実による教育水準の向上
7. 道路や文化施設の整備など生活環境(ハード面)の充実
8. レジャーや娯楽、ショッピングなど生活環境(ソフト面)の充実
9. 特に期待はしていない
10. その他

問 44 問 43 で「10. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

問 45 あなたは将来、一関市がどのようなまちになればよいと思いますか。ご意見やご提案がございましたら自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

一関市総合計画アンケート 中高生アンケート

※【検討中】 記載概要は以下のとおり

- ・ 一関市内の学校に通う中学校3年生と高校2年生の中から、900人をお願いする
- ・ 市では、令和8年度(2026年度)を初年度とし令和17年度(2034年度)を目標年次とする次期総合計画の策定を進めており、今後の市政運営に反映させることを目的にアンケートを実施することとした
- ・ 回答いただいた内容は、「こう思う方は全体の〇%」といった統計的な数値に取りまとめ、個人情報と回答内容を結び付けた情報の活用はしない

ご記入に当たってのお願い

- 質問には、封筒のあて名のご本人様がお答えください。
- 最初の質問から1問ずつ、全ての質問にお答えください。
- 回答は、オンラインフォームに入力し、送信する形で提出してください。
また、このアンケート用紙に記入する形での提出も可能です。
- アンケート用紙に記入するときは、黒のボールペンまたは濃い鉛筆で、各設問の選択肢の中から該当するものの○を塗りつぶしてください。内容を記述する設問については、回答を指定の枠の中に具体的に記載してください。

回答期限 月 日 ()

※ 指定の日までに、学校に提出してください。

問い合わせ先
一関市 市長公室 政策企画課 政策推進係
TEL 0191-21-8641(直通)

■ あなたの基礎情報についてうかがいます。

問1 あなたの性別を教えてください。(1つ選択)

1. 男性
2. 女性
3. その他
4. 回答しない

問2 現在お住まいの地域を教えてください。(1つ選択)

1. 一関地域
2. 花泉地域
3. 大東地域
4. 千厩地域
5. 東山地域
6. 室根地域
7. 川崎地域
8. 藤沢地域
9. 一関市以外

問3 問2で「9. 一関市以外」を選んだ場合は、お住まいの市町村名をお書きください。

問4 学校名をお書きください。

問5 高校生の方は、学科・コース名をお書きください。

■ あなたの将来の「生活」についてうかがいます。

問6 あなたは将来、一関市に住みたいと思いますか。（1つ選択）

1. 学校を卒業しても住み続けたい
2. 進学や就職で一度離れるかも知れないが、将来的には住みたい
3. 将来的に住みたくない
4. わからない

問7 問6で「1. 学校を卒業しても住み続けたい」と回答した方に伺います。
一関市に住みたいと思った理由は何ですか。（あてはまるもの3つまで選択）

1. 希望する職場や職業がある
2. 生まれ育った地域を離れたくない
3. 友人や仲間がいる
4. 自然や生活環境がよい
5. 人間関係がよい
6. ゆったりとした暮らしができる
7. 家族と離れたくない
8. その他

問8 問7で「8. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

問9 問6で「2. 進学や就職で一度離れるかも知れないが、将来的には住みたい」と回答した方に伺います。

将来的に一関市に住みたいと考えている時期はいつですか。（1つ選択）

【ライフイベントに合わせて】

1. 大学などを卒業して就職するとき
2. 転職したとき
3. 結婚したとき
4. 子供が生まれたとき
5. 老後
6. わからない

【年代】

7. 20代
8. 30代
9. 40代
10. 50代
11. 60代
12. 70代以上

問10 問6で「3. 将来的に住みたくない」と回答した方に伺います。一関市に住みたくないと思った理由は何ですか。（あてはまるもの3つまで選択）

1. 希望する職場や職業がない
2. 給料や休暇などの仕事における待遇面が悪い
3. 自分の能力を生かし成長できる機会がない
4. 買い物や娯楽の場が少ない
5. 日常生活を送るのに不便
6. 流行や最新の情報に触れられない
7. 親元を離れて暮らしたい
8. なんとなく
9. その他

問11 問10で「9. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

--

■ あなたの将来の「仕事」についてうかがいます。

問 12 あなたは学校卒業後の仕事についてどのように考えていますか。（1つ選択）

1. 会社などに勤めたい
2. 自分で会社などを起こしたい
3. 家業を継ぎたい

問 13 問 12 について、どのような職業につきたいですか。（1つ選択）

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1. 農林・畜産・園芸関係 | 12. 学術研究関係 |
| 2. 建築・土木・建設関係 | 13. スポーツ・芸能・芸術関係 |
| 3. 工業・製造関係 | 14. 飲食関係 |
| 4. 鉄道・運輸・輸送関係 | 15. 理美容関係 |
| 5. 情報通信・IT関係 | 16. デパート・スーパーなどの小売関係 |
| 6. 報道・マスコミ関係 | 17. 事務・経理・法律関係 |
| 7. 金融・証券・保険関係 | 18. 観光・旅行・ホテル関係 |
| 8. 医療・保健関係 | 19. その他のサービス業 |
| 9. 社会福祉・介護関係 | 20. 公務員・各種団体職員 |
| 10. 教育関係 | 21. その他 |
| 11. 保育園・幼稚園関係 | |

問 14 問 13 で「21. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

問 15 あなたは将来、どの地域への就職を希望しますか。（1つ選択）

1. 一関市
2. 盛岡市
3. 盛岡市以外の岩手県内市町村の近隣市町
4. 仙台市
5. 仙台市以外の宮城県内市町村の近隣市町
6. 首都圏
7. その他

問 16 問 15 で「7. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

問17 あなたが仕事を考える上で一番大切にしたいポイントはなんですか。（1つ選択）

1. 楽しく働きたい
2. 自分の夢を実現したい
3. 生活と仕事を両立したい
4. プライドの持てる仕事をしたい
5. 人の役に立つ仕事をしたい
6. 出世してたくさんお金を稼ぎたい
7. 社会に貢献したい
8. 生活できる収入を得たい
9. まだ分からない

問18 仕事を選ぶときに大切にしたい条件を教えてください。（あてはまるもの3つまで選択）

1. 安定している
2. 将来性がある
3. 給料がいい
4. やりたい仕事ができる
5. 知名度が高い
6. 休日・休暇が充実している
7. 自分の能力を活かせる
8. 働きがいがある
9. 社風がいい
10. 研修制度が充実している
11. まだ分からない

■ あなたの関での暮らしについてうかがいます。

問 19 あなたは関市の住みやすさについて、どのように感じていますか。項目ごとに1「非常に不満」～5「非常に満足」の5段階評価のうち、あてはまる番号を1つ選択してください。

	思う	どちらともいえない			思わない
	1	2	3	4	5
1. 人間関係、近隣関係	1	2	3	4	5
2. 交通の利便性	1	2	3	4	5
3. 働く場所	1	2	3	4	5
4. 自然環境	1	2	3	4	5
5. 居住環境	1	2	3	4	5
6. 治安、防災	1	2	3	4	5
7. 教育環境	1	2	3	4	5
8. 保健・医療機関の体制	1	2	3	4	5
9. 子育て支援の体制	1	2	3	4	5
10. 高齢者、障がい者、妊婦、子ども等への配慮	1	2	3	4	5
11. まちの活気	1	2	3	4	5
12. 買い物の利便性	1	2	3	4	5
13. 物価	1	2	3	4	5
14. 文化、教養、娯楽施設の充実	1	2	3	4	5

問 20 中心市街地の商店街（一ノ関駅西側の商店街）または各地域の商店街がどのような空間になるとよいと思いますか。（あてはまるもの3つまで選択）

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 歩いて楽しい 2. 交通が便利 3. 居住もできる空間 4. 何でも用事を足せる 5. ショッピングが楽しめる 6. 観光客がたくさん訪れる 7. バリアフリー化が進んでいる 8. イベントや伝統行事がたくさんある 9. 歴史的街並みや伝統産業が活かされている 10. 働く場所が多く、ビジネスが活発である 11. 治安がいい 12. 特になし 13. 分からない 14. その他 |
|--|

問21 問20で「14. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

--

問22 次にあげる各場面において、あなたの身の回りでは男女平等になっていると思いますか。（1つ選択）

	思う		どちらともいえない		思わない
1 家庭生活	1	2	3	4	5
2 学校教育の場	1	2	3	4	5
3 政治の場、法律や制度上	1	2	3	4	5
4 社会通念、習慣、しきたり	1	2	3	4	5

■まちづくりについてうかがいます。

問 23 将来、どのようなまちになれば、一関市に住みたいと思う人が多くなると思われますか。（あてはまるもの3つまで選択）

【仕事】

1. 様々な種類の仕事や安定して働くことのできる仕事がある
2. 仕事だけでなく、自分や家族のための時間が取れる職場がある

【生活】

3. 買い物や飲食を楽しむことができ、まちににぎわいがある
4. 自分の趣味、娯楽やスポーツを楽しめる機会や環境がある
5. 最新の流行や情報に接することができる
6. 日常の買い物に不便を感じない環境がある
7. 自家用車を持たなくてもほかの交通手段で移動ができる
8. 快適に暮らせる住宅がある
9. 道路や上下水道などが将来にわたり維持されている
10. まちづくりに若者の声を届ける場や参加できる機会がある

【自然・文化】

11. 自然の恵みを感じながらゆったりと生活できる
12. 観光客や外国人など市外の人が多く訪れ、交流ができる
13. 自然環境にやさしい暮らしを実現する取り組みを進めている
14. 自然や農村景観が残っている
15. 地域の祭りや文化、芸能が受け継がれている

【医療・福祉・教育】

16. 安心して出産や子育てができる
17. 教育環境が充実している
18. 必要な医療サービスや福祉サービスが受けられる

問 24 あなたは将来、一関市がどのようなまちになればよいと思いますか。ご意見やご提案があれば自由にお書きください。

問 25 SDGsという言葉を知ったことがありますか。

1. SDGsという言葉を知ったことがあり、内容も知っている
2. SDGsという言葉を知ったことがあるが、内容は知らない
3. SDGsという言葉は聞いたことがない

問 26 問 25 で「1. SDGs という言葉を聞いたことがあり、内容も知っている」「2. SDGs という言葉を聞いたことがあるが、内容は知らない」と回答した方に伺います。

SDGs に関心はありますか。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 非常に関心がある2. やや関心がある3. あまり関心がない4. 全く関心がない |
|---|

問 27 一関市を含む北上高地が I L C（国際リニアコライダー）計画の国内候補地となっています。一関市では I L C の実現を目指し、市民への普及啓発、国内外への情報発信などに取り組んでいます。あなたは I L C の実現に伴って地域にどのようなことを期待しますか。（あてはまるもの 3 つまで選択）

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 地域の国際化2. 地元産業の発展3. 新しいビジネスの創出4. 人材の育成・確保5. 教育環境の充実による教育水準の向上6. 道路や文化施設の整備など生活環境（ハード面）の充実7. レジャーや娯楽、ショッピングなど生活環境（ソフト面）の充実8. 地域ブランドの向上9. 特に期待はしていない10. その他 |
|--|

問 28 問 27 で「10. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

ご協力ありがとうございました。

一関市総合計画アンケート 企業アンケート

※【検討中】 記載概要は以下のとおり

- ・ 当市と産業経済面で関わりの深い岩手県南・宮城県北地域の事業所の中から、150社に願います
- ・ 市では、令和8年度(2026年度)を初年度とし令和17年度(2034年度)を目標年次とする次期総合計画の策定を進めており、今後の市政運営に反映させることを目的にアンケートを実施することとした
- ・ 回答いただいた内容は、「こう思う方は全体の〇%」といった統計的な数値に取りまとめ、企業情報と回答内容を結び付けた情報の活用はしない

ご記入に当たってのお願い

- 質問には、封筒のあて名のご本人様がお答えください。
- 最初の質問から1問ずつ、全ての質問にお答えください。
- 回答は、オンラインフォームに入力し、送信する形で提出してください。
また、このアンケート用紙に記入し、同封の返信用封筒で郵送する形での提出も可能です。
- アンケート用紙に記入するときは、黒のボールペンまたは濃い鉛筆で、各設問の選択肢の中から該当するものの○を塗りつぶしてください。内容を記述する設問については、回答を指定の枠の中に具体的に記載してください。

回答期限 月 日 ()

※ 郵便の場合は、この日までにポストに投函してください。

問い合わせ先
一関市 市長公室 政策企画課 政策推進係
TEL 0191-21-8641(直通)

■ 貴社の基礎情報についてうかがいます。

問1 貴社の所在地（当地の現地事務所、工場など）は、次のうちどちらですか。（1つ選択）

複数の市町に該当する場合は、主たる所在地をお選びください。

1. 一関市
2. 平泉町
3. 陸前高田市
4. 気仙沼市
5. 登米市
6. 栗原市

問2 貴社の主な業種をお選びください。（1つ選択）

1. 製造業
2. 建設業
3. 卸売業
4. 小売業
5. 不動産業
6. 運輸業
7. 情報通信業
8. 飲食業
9. 宿泊業
10. サービス業
11. その他

問3 問2で「11. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

--

問4 企業形態をお選びください。（1つ選択）

1. 個人
2. 法人

問5 従業員数をお選びください。（1つ選択）

1. 0～5人
2. 6～20人
3. 21～50人
4. 51～100人
5. 101～300人
6. 301人～

問6 経営者（代表者）の年齢をお選びください。（1つ選択）

1. 10代
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60代
7. 70代以上

問7 主要な仕入れ先をお選びください。（1つ選択）

1. 一関市内
2. 岩手県南
3. 宮城県北
4. 首都圏
5. その他国内
6. 海外

問8 問7で選択した仕入れ先の取引割合をお選びください。（1つ選択）

1. 80%以上
2. 50%～79%
3. 30%～49%
4. 29%以下

問9 主要な販売先（顧客）をお選びください。（1つ選択）

1. 一関市内
2. 岩手県南
3. 宮城県北
4. 首都圏
5. その他国内
6. 海外

問10 問9で選択した販売先の取引割合をお選びください。（1つ選択）

1. 80%以上
2. 50%～79%
3. 30%～49%
4. 29%以下

■ 貴社の現在の取組についてうかがいます。

問11 働きやすい職場環境の実現のため、以下の項目について貴社が実施している取組をお選びください。（あてはまるものすべて選択）

1. 有給休暇取得の推進
2. 残業時間の削減
3. フレックス勤務など多様な勤務時間の導入
4. 在宅勤務・時短勤務など多様な働き方の推進
5. 業務プロセスの見直しによる業務削減
6. RPAの導入など自動化による業務削減
7. アウトソーシングによる業務削減
8. 女性管理職登用など女性活躍の推進
9. 社員のスキルアップ支援
10. 障がいがある方の雇用の促進
11. 定年引上げなど高齢者の雇用の促進
12. 外国籍や留学生の雇用の促進
13. 非正規・正規社員の格差解消
14. 賃上げ
15. その他

問12 問11で「14. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

問13 貴社ではSDGsの取組を行っていますか。

1. SDGsの取組をすでに実施している
2. SDGsの取組について具体的な検討を進めている
3. SDGsの取組について具体的な検討は進んでいないが、今後取り組んでいきたいと考えている
4. SDGsという言葉は聞いたことがあるが内容は知らない
5. SDGsについて全く知らない

問14 SDGsの取組を行うにあたり、何が課題だと思いますか。（あてはまるもの3つまで選択）

1. 何から取り組んでいいかわからない
2. 社会的な認知度が高まっていない
3. 具体的な目標や成果指標の設定の仕方がわからない
4. マンパワーが不足している
5. 行政の支援や関与が希薄
6. 社内での理解度が低い
7. 資金が不足している
8. 取り組む時間がない
9. 取り組むことによるメリットがわからない
10. 他社の取組を知る機会がない
11. わからない
12. その他

問15 問14で「12. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

--

■ 貴社の経営についてうかがいます。

問 16 現在の経営上の課題で特に課題と思われるものをお選びください。（あてはまるもの3つまで選択）

1. 新たな顧客・販路の開拓
2. 人材の確保
3. 業務の効率化
4. 新商品・サービスの開発
5. 商圏・顧客ニーズの把握
6. ブランド力の向上
7. AI を含めたデジタル技術の利活用
8. 運転・設備資金の確保
9. 既存融資の返済
10. 雇用の維持
11. コスト削減・収益構造の改善
12. 売り上げの拡大
13. 事業承継・M&A
14. 物価高騰の影響による売上不振
15. その他

問 17 問 16 で「15. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

--

問 18 今後の経営で重視するものをお選びください。（あてはまるもの3つまで選択）

1. 取引先・顧客の開拓や取引・販路拡大
2. 経費の圧縮・削減
3. 人材確保
4. 人材育成の強化
5. 新規事業・新商品・新サービスの開発
6. 既存事業・既存製品・既存サービスの高付加価値化
7. 財務基盤の強化・手元資金の確保
8. 仕入れ先・調達先の見直し
9. デジタルを活用した業務の改善
10. デジタルを活用した新たな事業の構築
11. 生産拡大や新分野進出等の設備投資
12. 事業承継の推進
13. その他

問 19 問 18 で「13. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

--

問 20 事業の後継者の状況についてお選びください。

1. 後継者が決まっている
2. 後継者を探している
3. 5年以内に廃業する予定
4. 特に考えていない（わからない）

問 21 問 20 で「3.5年以内に廃業する予定」を選んだ場合は、その理由をお書きください。

問 22 今後、企業活動を一関市内で展開しようと思いませんか

1. 今後も一関市内で事業を継続する予定
2. 今後撤退する予定（検討中を含む）
3. 一関市内で事業を展開する予定はない

問 23 問 22 の理由をお書きください。

■ まちづくりについてうかがいます。

問 24 岩手県南、宮城県北地域の中間に位置する一関市の役割として、どのような分野に力を入れていくべきとお考えですか。（あてはまるもの3つまで選択）

1. 住宅・上下水道など居住環境の充実
2. 鉄道・バスなど公共交通機関の充実
3. 道路網の整備
4. 保健・医療体制の充実
5. 子育て環境の充実
6. 高齢者福祉の充実
7. 農林業の振興
8. 製造業・流通業などの産業集積
9. 商業・観光・サービス業の振興
10. 働く場の確保
11. 教育環境の充実
12. 国際化への対応
13. 都市型のレジャー施設・娯楽施設の充実
14. その他

問 25 問 24 で「14. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

--

問 26 一関市の商工業の振興のため必要とお考えのものは、次のうちどれですか。（あてはまるもの3つまで選択）

1. 人材確保
2. 人材育成
3. 共同受発注・製品開発などの企業間連携
4. 起業や新規事業展開
5. 産学官連携
6. 農商工連携
7. 企業誘致
8. ビジネスサポート体制の充実
9. 工業団地等のインフラ整備
10. 規制緩和
11. 企業間の交流と連携
12. 企業のDX推進
13. 事業承継の推進
14. その他

問 27 問 26 で「14. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

--

■ I L C（国際リニアコライダー）についてうかがいます。

問 28 一関市を含む北上高地が I L C（国際リニアコライダー）計画の国内候補地となっています。I L C 関連産業への参入について、どのようにお考えですか。（1つ選択）

1. 参入したい
2. 参入する方向で検討
3. 参入しない方向で検討
4. 参入しない
5. 未定

問 29 問 28 で「1. 参入したい」または「2. 参入する方向で検討」を選択した方にかがいます。参入する場合、主にどのような分野で参入したいと考えていますか。（1つ選択）

1. 加速器関連
2. トンネル掘削等土木関連
3. 研究施設等の運営
4. I L C 関連グッズや商品の開発・販売
5. 現時点でどの分野で参入できるかわからないが、チャンスがあれば参入したい
6. その他

問 30 問 29 で「6. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

問 31 問 28 で「3. 参入しない方向で検討」または「4. 参入しない」を選択した方にかがいます。

参入しない理由は何ですか。（1つ選択）

1. I L C に関心がないため
2. I L C と関係のない業種のため
3. I L C のことがよく分からないため
4. その他

問 32 問 31 で「4. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

問 33 一関市では I L C の実現を目指し、市民への普及啓発、国内外への情報発信などに取り組んでいます。貴社は I L C の実現に伴って地域にどのようなことを期待しますか。（あてはまるもの 3 つまで選択）

1. 地域の国際化
2. 地元産業の発展
3. 地域ブランドの向上
4. 新しいビジネスの創出
5. 人材の育成・確保
6. 教育環境の充実による教育水準の向上
7. 道路や文化施設の整備など生活環境（ハード面）の充実
8. レジャーや娯楽、ショッピングなど生活環境（ソフト面）の充実
9. 特に期待はしていない
10. その他

問 34 問 33 で「10. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

問 35 これからの一関市のまちづくりについて、ご意見やご提案がございましたらお書きください。

ご協力ありがとうございました。

一関市総合計画アンケート

結婚・出産・就労に関するアンケート

※【検討中】 記載概要は以下のとおり

- ・ 市内にお住まいの20歳から39歳まで（令和6年4月1日現在）の市民の方の中から無作為に選んだ1,500の方をお願いする
- ・ 市では、令和8年度（2026年度）を初年度とし令和17年度（2034年度）を目標年次とする次期総合計画の策定を進めており、今後の市政運営に反映させることを目的にアンケートを実施することとした
- ・ 回答いただいた内容は、「こう思う方は全体の〇%」といった統計的な数値に取りまとめ、個人情報と回答内容を結び付けた情報の活用はしない

ご記入に当たってのお願い

- 質問には、封筒のあて名のご本人様がお答えください。
- 最初の質問から1問ずつ、全ての質問にお答えください。
- 回答は、オンラインフォームに入力し、送信する形で提出してください。
また、このアンケート用紙に記入する形での提出も可能です。
- アンケート用紙に記入するときは、黒のボールペンまたは濃い鉛筆で、各設問の選択肢の中から該当するものの○を塗りつぶしてください。内容を記述する設問については、回答を指定の枠の中に具体的に記載してください。

回答期限 月 日（ ）

問い合わせ先
一関市 市長公室 政策企画課 政策推進係
TEL 0191-21-8641(直通)

■ この調査は、市の人口推計を行う際の資料とするため、行うものです。
個人的な内容をお伺いしますが、情報は個人情報とは結び付けず、統計情報として
使用します。

■ あなたの基礎情報についてうかがいます。

問1 あなたの性別を教えてください。（1つ選択）

- | |
|----------|
| 1. 男性 |
| 2. 女性 |
| 3. その他 |
| 4. 回答しない |

問2 あなたの年齢はおいくつですか。（1つ選択）

- | |
|-------|
| 20歳 |
| 21歳 |
| 22歳 |
| 23歳 |
| 24歳 |
| 25歳 |
| 26歳 |
| 27歳 |
| 28歳 |
| 29歳 |
| 30歳 |
| 31歳 |
| 32歳 |
| 33歳 |
| 34歳 |
| 35歳 |
| 36歳 |
| 37歳 |
| 38歳 |
| 39歳以上 |

問3 あなたのお住まいの地域はどちらですか。(1つ選択)

1. 一関地域
2. 花泉地域
3. 大東地域
4. 千厩地域
5. 東山地域
6. 室根地域
7. 川崎地域
8. 藤沢地域

問4 現在どなたと同居されていますか。あなたからみた続柄をお答えください。(あてはまるものすべて選択)

1. 配偶者
2. 子ども
3. 親
4. 兄弟姉妹
5. 祖父母
6. 孫
7. 配偶者の親・兄弟姉妹・祖父母
8. その他
9. 同居していない

■あなたの就労状況についてうかがいます。

問5 あなたの就労状況を教えてください。(1つ選択)

1. 正社員・正職員
2. 派遣・嘱託・契約社員
3. パート・アルバイト
4. 自営業主、家族従事者
5. 専業主婦・専業主夫
6. 学生
7. 無職
8. その他

問6 問5で「8. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

問7 あなたの令和5年中の年収についてうかがいます。あてはまるものをお選びください。(1つ選択)

1. 100万円未満
2. 100万円以上 200万円未満
3. 200万円以上 300万円未満
4. 300万円以上 400万円未満
5. 400万円以上 500万円未満
6. 500万円以上 600万円未満
7. 600万円以上 700万円未満
8. 700万円以上 800万円未満
9. 800万円以上
10. 収入はない

■パートナーとお子さんの状況についてうかがいます。

問8 あなたは、現在結婚されていますか。(1つ選択)

1. 既婚
2. 未婚 →問13へ
3. 以前結婚していた(離婚・死別)

問9 結婚されたのは何歳のときですか。その年齢をお書きください。

問10 現在のパートナーとはどのようなきっかけで知り合いましたか。(1つ選択)

1. 職場や仕事の関係
2. 幼なじみ・隣人
3. 学校
4. 学校以外のサークル・クラブ活動・習い事
5. お見合い
6. 友人・知人・兄弟姉妹を通じて
7. SNSなどインターネットを通じて
8. 結婚相談所などの結婚情報サービス
9. 婚活イベント
10. マッチングアプリ
11. その他

問11 問10で「11. その他」を選んだ方は、その内容をお書きください。

問12 あなたのパートナーの年収についてうかがいます。あてはまるものをお選びください。(1つ選択)

- 100万円未満
- 100万円以上 200万円未満
- 200万円以上 300万円未満
- 300万円以上 400万円未満
- 400万円以上 500万円未満
- 500万円以上 600万円未満
- 600万円以上 700万円未満
- 700万円以上 800万円未満
- 800万円以上
- 収入はない

問 13 お子さんは何人いらっしゃいますか。(同居・別居は問いません) (1つ選択)

1. 1人
2. 2人
3. 3人
4. 4人
5. 5人以上
6. いない

問 14 問 13で「1人」から「5人以上」を選んだ方にうかがいます。初めてお子さんをお持ちになった年齢をお書きください。

問 15 あなたにとって理想の子どもの数は何人ですか。(1つ選択)

1. 1人
2. 2人
3. 3人
4. 4人
5. 5人以上
6. いない

問 16 問 15で「1人」から「5人以上」を選んだ方にうかがいます。子ども(第1子)を持つにあたり、理想の年齢をお書きください。

問 17 不妊治療についてうかがいます。あてはまるものをお選びください。(1つ選択)

1. 不妊治療をしている、または治療したことがある
2. 不妊治療を考えている
3. 不妊治療は考えていない
4. その他

問 18 問 17で「4. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

問 19 問 17 で「1. 不妊治療をしている、または治療したことがある」または「2. 不妊治療を考えている」を選んだ方にうかがいます。

不妊治療について、困っていること、心配していることは何ですか。（あてはまるものすべて選択）

1. 治療の方法がわからない
2. どの医療機関に行けばよいかわからない
3. 治療にかかる経済的な負担が大きい
4. 不妊治療の助成などの支援制度がわからない
5. 仕事を休んで治療に行くことができない
6. パートナーの理解や協力が得られない
7. 不妊治療に対する職場の理解が得にくい
8. 治療を受けるための身体的負担が大きい
9. 治療を受けるための精神的負担が大きい
10. 治療を受けたい医療機関が遠い
11. その他

問 20 問 19 で「11. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

--

■ 結婚していない方にうかがいます。

問 21 あなたは、結婚についてどのようにお考えですか。（1つ選択）

1. 結婚したい
2. できれば結婚したい
3. 結婚しなくてもよい
4. 結婚したくない

問 22 問 21 で「1. 結婚したい」または「2. できれば結婚したい」を選んだ方にうかがいます。

何歳くらいで結婚したいですか。その年齢をお書きください。

問 23 問 21 で「1. 結婚したい」または「2. できれば結婚したい」を選んだ方にうかがいます。

結婚相手との出会いを求めるとしたら、どのようなことに取り組みたいと思いますか。（あてはまるものすべて選択）

1. 職場の同僚や先輩に紹介を頼む
2. サークルやクラブ活動に参加する
3. 学校の同窓会に参加する
4. お見合いをする
5. 友人・知人に紹介を頼む
6. SNS などインターネットを通じて探す
7. 市やNPOで行う結婚相談・結婚支援
8. 民間の結婚相談・結婚情報サービス
9. マッチングアプリに登録する
10. 婚活イベントに参加する
11. 既に結婚を考えた相手がいる
12. 特に何もしない
13. その他

問 24 問 23 で「12. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

■ お子さんがいる方へうかがいます。

問 25 お子さんが1人の方は2人目以降の出産について支障になると想定されること、2人以上お子さんがいる方は出産前に支障だと感じていたことはどのようなことですか。（あてはまるものすべて選択）

1. 妊娠・出産の心理的・肉体的な負担が大きい
2. 健康上の理由で妊娠・出産が困難
3. 年齢が高い
4. 共働きで育児と仕事の両立が困難
5. 出産・育児・教育にお金がかかる
6. 出産・育児で仕事から離れることによる減収
7. 育児や家事にパートナーの協力が得られない
8. 育児にパートナー以外の家族の協力が得られない
9. 育児休暇が取れない
10. 働く時間に融通がきく仕事が少ない
11. 出産・育児に対する職場の理解がない
12. 保育サービス等の支援体制が不十分
13. 住居が狭い・間取りが不十分
14. 子どもの遊び場が近所がない
15. 自分や夫婦の時間が取れなくなる
16. パートナーが子どもを望まない
17. その他

問 26 問 27 で「17. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

--

問 27 第1子出産前の就労状況を教えてください。男性の方は、パートナーの状況についてお答えください。（1つ選択）

1. 正社員・正職員
2. 派遣・嘱託・契約社員
3. パート・アルバイト
4. 自営業主、家族従事者
5. 家事専業
6. 無職
7. その他

問 28 問 27 で「7. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

--

■ すべての方への質問です。すべての方がお答えください。

問 29 出産について、支障になったこと・なりそうだと感じることはどのようなことですか。（あてはまるものすべて選択）

1. 妊娠・出産の心理的・肉体的な負担が大きい
2. 健康上の理由で妊娠・出産が困難
3. 出産年齢が高い
4. お金がかかる
5. 仕事から離れることによる減収
6. 出産に対する職場の理解がない
7. 自分や夫婦の時間が取れなくなる
8. パートナーが子どもを望まない
9. その他

問 30 問 29 で「17. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

問 31 子育てについて、支障になったこと・なりそうだと感じることはどのようなことですか。（あてはまるものすべて選択）

1. 共働きで育児と仕事の両立が困難
2. 育児・教育にお金がかかる
3. 仕事から離れることによる減収
4. 育児や家事に配偶者の協力が得られない
5. 配偶者以外の家族の協力が得られない
6. 育児休暇が取れない
7. 働く時間に融通がきく仕事が少ない
8. 育児に対する職場の理解がない
9. 保育サービス等の支援体制が不十分
10. 住居が狭い・間取りが不十分
11. 子どもの遊び場が近所がない
12. 自分や夫婦の時間が取れなくなる
13. その他

問 32 問 31 で「17. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

問 33 一関市が、結婚・出産・子育てしやすいまちになるためには、現在の状況からどのように変わっていけばよいと思いますか。お考えやご提案がありましたら、記入してください。

ご協力ありがとうございました。

一関市総合計画アンケート 転入者アンケート

※【検討中】 記載概要は以下のとおり

- ・ 令和5年に一関市に転入された方の中から無作為に選んだ500人の方をお願いする
- ・ 市では、令和8年度(2026年度)を初年度とし令和17年度(2034年度)を目標年次とする次期総合計画の策定を進めており、今後の市政運営に反映させることを目的にアンケートを実施することとした
- ・ 回答いただいた内容は、「こう思う方は全体の〇%」といった統計的な数値に取りまとめ、個人情報と回答内容を結び付けた情報の活用はしない

ご記入に当たってのお願い

- 質問には、封筒のあて名のご本人様がお答えください。
- 最初の質問から1問ずつ、全ての質問にお答えください。
- 回答は、オンラインフォームに入力し、送信する形で提出してください。
また、このアンケート用紙に記入し、同封の返信用封筒で郵送する形での提出も可能です。
- アンケート用紙に記入するときは、黒のボールペンまたは濃い鉛筆で、各設問の選択肢の中から該当するものの○を塗りつぶしてください。内容を記述する設問については、回答を指定の枠の中に具体的に記載してください。

回答期限 月 日 ()

※ 郵便の場合は、この日までにポストに投函してください。

問い合わせ先
一関市 市長公室 政策企画課 政策推進係
TEL 0191-21-8641(直通)

■ あなたの基礎情報についてうかがいます。

問1 あなたの性別を教えてください。(1つ選択)

1. 男性
2. 女性
3. その他
4. 回答しない

問2 あなたの年齢をお書きください。

問3 一関市でお住まいになられている地域を教えてください。(1つ選択)

1. 一関地域
2. 花泉地域
3. 大東地域
4. 千厩地域
5. 東山地域
6. 室根地域
7. 川崎地域
8. 藤沢地域

問4 あなたの家族構成は、次のどれですか。(1つ選択)

1. 単身世帯(ひとり暮らし)
2. 夫婦のみ
3. 親と子
4. 三世代(親と子と孫)
5. その他世帯

問5 問4で「5. その他世帯」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

問6 あなたの就労状況を教えてください。(1つ選択)

1. 正社員・正職員
2. 派遣・嘱託・契約社員
3. パート・アルバイト
4. 自営業主、家族従事者
5. 専業主婦・専業主夫
6. 学生
7. 無職
8. その他

問7 問3で「8. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

問8 勤務先の都道府県名と市区町村名をお書きください。（勤務されている方のみお書きください）

■ 一関市に転入した経緯について、おうかがいします。

問9 転入前にお住まいの都道府県名と市区町村名をお書きください。

--

問10 転入前に一関市（合併した現在の一関市）に住んでいたことがありますか。（1つ選択）

- | |
|--------------------------------|
| 1. 住んでいたことがある
2. 住んでいたことがない |
|--------------------------------|

問11 一関市に転入された主な理由は何ですか。（1つ選択）

- | |
|--|
| 1. 自分の仕事の都合
2. 家族の仕事の都合
3. 自分の学校の都合（進学、通学など）
4. 子どもの保育所・学校の都合
5. 結婚のため
6. 離婚のため
7. 住宅の新築・購入
8. 家族と同居、近居のため
9. 親などの介護のため
10. 一関市に住みたかったから
11. その他 |
|--|

問12 問11で「11. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

--

問13 問11で「1. 自分の仕事の都合」または「2. 家族の仕事の都合」を選んだ方にうかがいます。仕事の都合の具体的な内容は何ですか。（1つ選択）

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 転勤
2. 就職
3. 転職
4. その他 |
|-----------------------------------|

問14 問13で「4. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

--

問15 転居先として一関市以外の市町村を検討していましたか。(1つ選択)

1. 一関市しか考えていなかった
2. 他の市町村も検討した

問16 問15で「2. 他の市町村も検討した」を選んだ方にうかがいます。
他にどちらの市町村を検討されていましたか。

--

問17 問15で「2. 他の市町村も検討した」を選んだ方におうかがいします。
他の市町村と検討した結果、一関市に決めた理由として大きかったものは何ですか。
(あてはまるもの3つまで選択)

1. 勤務先に近い
2. 家族の住まいに近い
3. 生まれ育ったまちだから
4. 住宅価格や家賃が安い
5. 商業施設や飲食店が充実している
6. 交通アクセスがよい
7. 医療環境が充実している
8. 福祉・介護施設が充実している
9. 教育環境が充実している
10. 子育て環境の充実や子育て支援の助成制度が充実している
11. 住宅取得・改修のための助成があったから
12. 自然環境や景観がよい
13. 人間関係がよい
14. 治安がよい
15. その他

問18 問17で「15. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

--

問19 転入前に、一関市での生活環境に関する情報はどのような手段で得ていましたか。
(あてはまるもの3つまで選択)

1. 家族や知人からの情報
2. 不動産業者
3. 市役所のホームページ
4. 市役所のフェイスブック
5. 市役所の広報誌やチラシ
6. 市役所以外のインターネットページ
7. 市役所以外のフェイスブックなどの SNS
8. テレビ・新聞・雑誌
9. その他

問20 問21で「9. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

--

問21 転入前に、一関市の生活環境に関する情報は十分得られていましたか。(1つ選択)

1. 十分得られた
2. ある程度得られた
3. あまり得られなかった
4. まったく得られなかった

■ まちづくりについてうかがいます。

問 22 以前にお住まいの市区町村と比べて、一関市の生活環境の満足度をうかがいます。次の各項目について、1「非常に不満」～5「非常に満足」の5段階評価で、あてはまる番号を1つ選択してください。

	思う	どちらともいえない			思わない
	1	2	3	4	5
1 日常の買い物の便利さ	1	2	3	4	5
2 飲食店の多さ	1	2	3	4	5
3 交通の便利さ	1	2	3	4	5
4 職場までの距離	1	2	3	4	5
5 働く場の多さ	1	2	3	4	5
6 子育て環境	1	2	3	4	5
7 教育環境	1	2	3	4	5
8 医療環境	1	2	3	4	5
9 福祉・介護環境	1	2	3	4	5
10 住宅環境	1	2	3	4	5
11 インターネットなどの通信環境	1	2	3	4	5
12 娯楽・余暇の楽しみ	1	2	3	4	5
13 自然環境	1	2	3	4	5
14 近所・地域の間人関係	1	2	3	4	5
15 街のにぎわい	1	2	3	4	5
16 ゆとりある暮らし	1	2	3	4	5
17 治安・防犯	1	2	3	4	5

問 23 一関市が若者から住んでみたいと思われるまちになるためにどのような分野に力を入れればよいと思いますか。(あてはまるもの3つまで選択)

1. 農林業の振興
2. 工業の振興
3. 商業・サービス業の振興
4. 観光の振興
5. 雇用の創出
6. 就職・就業支援
7. 起業・創業支援
8. 働き方改革・仕事と生活の調和
9. まちのにぎわい創出
10. 交通の利便性
11. 住環境の充実
12. インターネット環境の整備
13. 教育環境の充実
14. 芸術・スポーツの振興
15. 子育てしやすい環境づくり
16. 医療・福祉環境の充実
17. 結婚支援
18. その他

問 24 問 23 で「18. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

問 25 転入者を増やすためには、一関市がどのようなまちになったらよいか、あなたのお考えやご提案などがありましたら、お書きください。

ご協力ありがとうございました。

一関市総合計画アンケート 転出者アンケート

※【検討中】 記載概要は以下のとおり

- ・ 令和5年に一関市から転出された方の中から無作為に選んだ500人の方をお願いする
- ・ 市では、令和8年度(2026年度)を初年度とし令和17年度(2034年度)を目標年次とする次期総合計画の策定を進めており、今後の市政運営に反映させることを目的にアンケートを実施することとした
- ・ 回答いただいた内容は、「こう思う方は全体の〇%」といった統計的な数値に取りまとめ、個人情報と回答内容を結び付けた情報の活用はしない

ご記入に当たってのお願い

- 質問には、封筒のあて名のご本人様がお答えください。
- 最初の質問から1問ずつ、全ての質問にお答えください。
- 回答は、オンラインフォームに入力し、送信する形で提出してください。
また、このアンケート用紙に記入し、同封の返信用封筒で郵送する形での提出も可能です。
- アンケート用紙に記入するときは、黒のボールペンまたは濃い鉛筆で、各設問の選択肢の中から該当するものの○を塗りつぶしてください。内容を記述する設問については、回答を指定の枠の中に具体的に記載してください。

回答期限 月 日 ()

※ 郵便の場合は、この日までにポストに投函してください。

問い合わせ先
一関市 市長公室 政策企画課 政策推進係
TEL 0191-21-8641(直通)

■ あなたの基礎情報についてうかがいます。

問1 あなたの性別を教えてください。(1つ選択)

1. 男性
2. 女性
3. その他
4. 回答しない

問2 あなたの年齢をお書きください。

問3 一関市でお住まいになられていた地域を教えてください。(1つ選択)

1. 一関地域
2. 花泉地域
3. 大東地域
4. 千厩地域
5. 東山地域
6. 室根地域
7. 川崎地域
8. 藤沢地域

問4 あなたの家族構成は、次のどれですか。(1つ選択)

1. 単身世帯(ひとり暮らし)
2. 夫婦のみ
3. 親と子
4. 三世代(親と子と孫)
5. その他世帯

問5 問4で「5. その他世帯」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

問6 一関市にはおおむね何年、お住まいになりましたか。(1つ選択)

1. 1年未満
2. 1年から5年未満
3. 5年から10年未満
4. 0年から20年未満
5. 20年から30年未満
6. 30年以上

問7 あなたの就労状況を教えてください。(1つ選択)

1. 正社員・正職員
2. 派遣・嘱託・契約社員
3. パート・アルバイト
4. 自営業主、家族従事者
5. 専業主婦・専業主夫
6. 学生
7. 無職
8. その他

問8 問7で「8. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

■ あなたの転出の経緯についてうかがいます。

問9 一関市からの転出先の都道府県名と市区町村名をお書きください。

問10 現在の勤務先の都道府県名と市区町村名をお書きください。（勤務されている方のみお書きください）

問11 一関市から転出された主な理由は何ですか。（1つ選択）

1. 自分の仕事の都合
2. 家族の仕事の都合
3. 自分の学校の都合（進学、通学など）
4. 子どもの保育所・学校の都合
5. 結婚のため
6. 離婚のため
7. 住宅の新築・購入
8. 家族と同居、近居のため
9. 親などの介護のため
10. 他に住みたい市町村があった
11. その他

問12 問11で「11. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

問13 問11で「1. 自分の仕事の都合」または「2. 家族の仕事の都合」を選んだ方にうかがいます。仕事の都合の具体的な内容は何ですか。（1つ選択）

1. 転勤
2. 就職
3. 転職
4. その他

問14 問13で「4. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

■ まちづくりについてうかがいます。

問 15 現在お住まいの市区町村と比べて、一関市の生活環境の満足度をうかがいます。次の各項目について、1「非常に不満」～5「非常に満足」の5段階評価で、あてはまる番号を1つ選択してください。

	思う		どちらともいえない		思わない
1. 日常の買い物の便利さ	1	2	3	4	5
2. 飲食店の多さ	1	2	3	4	5
3. 娯楽・余暇での楽しみ	1	2	3	4	5
4. 街のにぎわい	1	2	3	4	5
5. 交通の便利さ	1	2	3	4	5
6. 子育て環境	1	2	3	4	5
7. 教育環境	1	2	3	4	5
8. 医療環境	1	2	3	4	5
9. 福祉・介護環境	1	2	3	4	5
10. 治安・防犯	1	2	3	4	5
11. 職場までの距離	1	2	3	4	5
12. 働く場の多さ	1	2	3	4	5
13. 住宅環境	1	2	3	4	5
14. インターネットなどの通信環境	1	2	3	4	5
15. 自然環境	1	2	3	4	5
16. 近所・地域の間人関係	1	2	3	4	5
17. ゆとりある暮らし	1	2	3	4	5

問 16 機会があれば、もう一度一関市に住みたいですか。（1つ選択）

1. 住みたい
2. 住みたくない

問 17 問 16で「1. 住みたい」を選んだ方は住みたいと思う理由を、「2. 住みたくない」を選んだ方は住みたくないと思う理由をお書きください。

問 18 あなたは、どのような状況になれば、または、どのようなことが満たされれば、一関市に住むことを検討すると思いませんか。その内容をお書きください。

問19 一関市が若者から住んでみたいと思われるまちになるためにどのような分野に力を入れればよいと思いますか。(あてはまるもの3つまで選択)

1. 農林業の振興
2. 工業の振興
3. 商業・サービス業の振興
4. 観光の振興
5. 雇用の創出
6. 就職・就業支援
7. 起業・創業支援
8. 働き方改革・仕事と生活の調和
9. まちのにぎわい創出
10. 交通の利便性
11. 住環境の充実
12. インターネット環境の整備
13. 教育環境の充実
14. 芸術・スポーツの振興
15. 子育てしやすい環境づくり
16. 医療・福祉環境の充実
17. 結婚支援
18. その他

問20 問19で「18. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

問21 転入者を増やすためには、一関市がどのようなまちになったらよいか、あなたのお考えやご提案などがありましたら、お書きください。

ご協力ありがとうございました。

(単位：人)

1 一関市の人口推移【実績】

種類 (内容)	基準日	使用データ										備考	
		自然増減					社会増減						
		出生推計 (出生)		算出材料		死亡 (生残率)		算出方法		算出方法		推計値	
A	住民基本台帳人口 (住民票登録地の人口)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)				実績値
B	国勢調査人口 (常住地の人口)	121,411	119,655	117,814	115,822	113,877	112,049	110,176	107,930	111,932			実績値 (5年/1回)
C	岩手県人口移動報告年報人口 (国勢調査人口-移動人口)	120,062	118,319	116,479	114,477	111,932	110,072	108,154	105,918				推計値 (毎年) (国勢調査後修正)

2 人口推計方法及び一関市の人口推計【推計】

名称	出典	策定	推計期間	基準人口 (基準年)	使用データ				社会増減 移動率	推計値
					自然増減		出生推計 (出生)			
					算出材料	算出方法	算出方法	算出方法		
① 一関市独自推計人口	一関市人口ビジョン	R2.10改訂	H27~R27 (2015~2045)	【B】H27 国勢調査	【C】岩手県 人口移動報告 年報人口	2015~2019の 変化率から算出	合計特出生率を乗じて算出 (1.40 (H29))	【C】岩手県人口移動報告 年報人口 (2016~2019) の 変化率から算出	82,044人	
② 一関市将来展望人口	一関市人口ビジョン	R2.10改訂	H27~R42 (2015~2060)	【B】H27 国勢調査	【C】岩手県 人口移動報告 年報人口	2015~2019の 変化率から算出	市民の希望出生率を乗じて算出 (1.40 (H29) →1.80 (R12))	一関市独自推計人口の 移動率をベースとし、 R12年に社会減ゼロ	89,022人	
③ 日本の将来推計人口	国立社会保障・ 人口問題研究所	R5.8.31公表	R2~R52 (2020~2070)	【B】R2 国勢調査	将来生命表	1970~2020	仮定した出生率から算出 (1935~2020)	国際人口移動実績 (2015~2019)	112,837,000人	
④ 地域別将来推計人口 (移動人口)	国立社会保障・ 人口問題研究所	R5.12.22公表	R2~R32 (2020~2050)	【B】R2 国勢調査	男女・年齢別 生残率	2015~2020	女性 (20~44歳) に対することも (0~4歳) の割合から算出 (2005~2020)	地域別人口移動傾向 (2005~2020)	76,185人	
⑤ 地域別将来推計人口 (封鎖人口)	国立社会保障・ 人口問題研究所	R5.12.22公表	R2~R32 (2020~2050)	【B】R2 国勢調査	男女・年齢別 生残率	2015~2020	女性 (20~44歳) に対することも (0~4歳) の割合から算出 (2005~2020)	国際間・市町村間の人 口移動なし	84,880人	

3 令和2年以降の当市における人口の推移について (R2.10~R5.9平均)

人口増減：▲2,005人
 自然増減：▲1,532人
 社会増減：▲545人
 外国人増減：71人
 その他増減：1人

一関市の合計特殊出生率は1.22、出生数は482人【令和3年度実績】
 ▲2,005人を全て自然増(出生)で補う場合→合計特殊出生率は6.98
 (ニジェール共和国(アフリカ大陸)の合計特出生率6.73【世界1位】)
 ▲2,005人の半分を自然増で補う場合→合計特殊出生率4.15
 (日本の第1次ベビーブーム(1947年~1949年)の合計特出生率は約4.3)

・人口減少は避けられない。
 ・人口減少による影響を少なくするため、社会減対策と自然減対策を行う必要がある。
 ⇒ ②将来展望人口の実現

4 消滅可能性都市について

【概要】

民間組織「人口戦略会議」が4月24日に開催した人口戦略シンポジウムにおいて、令和6年・地方自治体「持続可能性」分析レポートを公表し、若年（20～39歳）女性人口の減少率が2020年から2050年までの間に50%以上の自治体が消滅可能性都市として分類した。

この分析は若年女性の移動人口（社会減）と封鎖人口（自然減）を基点とした人口減少①出生数低下⇒②人口減少⇒③消滅する可能性】の考え方によるもので、自治体の人口規模や出生数は勘案されていない。

若年女性の減少率		若年女性の減少率		
		小	中	大
若年女性の減少率	封鎖人口	減少率20%未満	減少率20～50%未満	減少率50%以上
	移動人口	A：自立持続可能性自治体 【大衡村】	D-①：その他自治体 ・自然減対策が必要 【名取市】	B-①：ブラックホール型自治体 ・自然減対策が極めて必要 【新宿区】
	減少率20%未満	D-②：その他自治体 ・社会減対策が必要 【金ヶ崎町】	D-③：その他自治体 ・自然減対策が必要 ・社会減対策が必要 【盛岡市、北上市、矢巾町、仙台市】	B-②：ブラックホール型自治体 ・自然減対策が極めて必要 ・社会減対策が必要 【京都市、大阪市】
	減少率20～50%未満	C-①：消滅可能性自治体 ・社会減対策が極めて必要 【平泉町】	C-②：消滅可能性自治体 ・自然減対策が必要 ・社会減対策が極めて必要 【一関市、奥州市】	C-③：消滅可能性自治体 ・自然減対策が極めて必要 ・社会減対策が極めて必要 【外ヶ浜町】
	減少率50%以上			

※ 移動人口とは、国外及び国内市町村間の転入出を仮定値により推計し、算出した人口⇒社会増減（転入出）の影響を予測
封鎖人口とは、国外及び国内市町村間の転入出をゼロと仮定し、算出した人口⇒自然増減（出生、死亡）の影響を予測